

アート教養課程

科目	絵画A 〔抽象〕	絵画B 〔具象〕	インスピレーション 研究	自主課題 〔A〕	西洋美術史	現代美術史	彫刻	映像	現代美術	美術館	デザイン 演習 〔A・B〕	自主課題 〔B〕	作家 表現論	修了 制作
内 容	□絵画材料基礎 【支持体実習】 「0」から始める. キャンパスの貼り方,支持体(木枠,パネル)の作りかた —参考:シェイプト・キャンパス 【色彩(混色)実習】 混色の基本.彩度,明度の調節と作成した支持体での抽象画制作 4回・2単位□	□油絵具象表現 静物・人物・風景等,具象的で多様なモチーフ(イメージ)を用いて,新しい絵画概念および絵画様式を目指す. 3課題＝3単位 □特別講習会【油絵写実表現講習(Photo Realism)】 絵具感を排除した高度な描写テクニック.自身で撮影した写真を用いて,正確に描写せよ. 6回＝4単位 □「人物」 美術におけるの人物表現とは何か.「人物」を総合的な概念から多角的に探り,実践する.あなたにとっての人物とは何か.(参照:ピカソ,マティス,ベーコン,シーレ等) 5課題＝5単位 □デッサン力強化レッスン 【12素材の描き分け,筆圧,コントラスト,明度,素材による鉛筆の持ち方の違い】デッサンとは何か.今日のアートにおいて,素描やドローイングとは異なるデッサン力(描写力,写実力)とはいかなる役割を果たすか.8枠＝4単位 □具象絵画・自主制作過程 ＝2単位	□美術に限らず作品とは,森羅万象よりインスピレーションし,発生したものである. 例)哲学,科学,物理学,人間関係,宇宙,民俗学,建築,機械,笑い,政治,自然,環境,災害,AI,技術革新,倫理,善悪,宗教など多岐に渡る. あらゆる事象を観点に則り考察せよ. 3領域＝6単位	中間自主制作過程 ＝2単位	古代から19世紀までの美術 □1章①② 【古代・人間とは何か】 美術の発生,原始美術,宗教美術～ —縄文,古代ギリシア,古代エジプトーボンペイ遺跡の埋没. プリミティブとは何か.普遍,時間を越えた美術. 2回＝2単位 □2章①② 【中世・宗教,宮廷美術ー画家の誕生】 ダ・ヴィンチ,レンブラント,フェルメール,ベラスケス～ 2回＝2単位 □3章①②③ 【近代・プロパガンダから大衆芸術へ,芸術家の夢】 ロマン主義以降の美術ー「美術」の誕生,印象主義,後期印象主義～ 3回＝3単位	20世紀以降の美術 □4章①②③ 【抽象画の確立・デュシャンの登場・前衛芸術の開花】フォーヴィスム,デュシャン,ダダ,バウハウス,未来派,形而上絵画,シュルレアリスム～ 4回＝4単位 □5章①②③ 【パリからN.Y.へ,大戦後の芸術・大量消費社会の芸術へ】抽象表現主義,ミニマル・アート,ポップ・アート～ 4回＝4単位 □6章①②③ 【芸術の多次元化ー概念芸術(コンセプチュアル・アート)の誕生】キネティック・アート,コンセプチュアル・アート,パフォーマンス,ハプニング,ヴィデオアート,ボイス,日本の前衛芸術 4回＝4単位 □7章①②③ 【ひらかれた芸術】ものの派,アースワーク,インスタレーション,地域アート,ニューベインティング,メディア・アート,サウンドアート,SEA,ネットアート,政治と芸術,SNS時代の芸術～(現代美術講義・つづく)	彫刻とは何か/立体的な概念とは何かを理解する.現代以降の多様な素材とインスタレーションへの拡張を視野に入れ,真に作品とは何かを問うことができるようになる. □塑像 実在のモチーフを粘土で立体的に模することができるようになる.(人体,静物等) 1作品 30cm ³ ＝2単位 □多素材の造形材料(石膏,樹脂,シリコン,コンクリート,石,蠟,金属等)を扱えるようになり,作品素材の可能性を自ら拡張できるようになる. 2作品(2素材)/各30cm ³	映画と美術におけるの映像表現の違いを考察する. □研究 【映画】ヒッチコック,ゴダール,キューブリック,黒澤明 他 2作品＝1単位 □【現代美術】ナム・ジュン・パイク,マシュー・バーニー,田中功起 他ードキュメンタリー,記録的映像作品と芸術の相違点 3～5作品＝1単位 □【演習】 映像作品の企画/撮影/編集/展示を行えるようになる. 1作品＝2単位	企画から制作ー設営ー展示ー記録まで ・絵画制作のみでは到達し得ない,多素材,他メディアを扱ったり「鑑賞」を意識して活動できるようにになる. ・展示設営の知識,技術,手配が行えるようになる ・公表(SNS,HP,ポートフォリオ,冊子等)ができるようになる ・美術史の文脈から自己の立ち位置を論じる □3作品＝6単位 □「地域アート」または「その他の形態」における展覧会を考察せよ. 3会場＝6～8単位	実物の鑑賞ー体験.展覧会を設けた観点に則り考察せよ. □「美術館」における展覧会を考察せよ.(企画展のみ.常設展不可) 12会場＝6～8単位 □「ギャラリー」(オルタナティブ含む)における展覧会を考察せよ. 10会場＝5単位 □「地域アート」または「その他の形態」における展覧会を考察せよ. 3会場＝6～8単位	デザインの概念を学ぶ □【基礎A】 デザインの総合グラフィック,テキストイル,プロダクト,インテリア,建築などデザインの領域から考える. 4回＝2単位 【基礎B】 デザインの考え方とはデザインの本質への理解＝コンセプトとは何かを「デザインのトライアングル」から学ぶ.	□中間自主制作過程 ＝2単位	□これまでの教養課程を踏まえ「今日の作品及び作家形態」において,いかなる表現領域が可能であろうか.絵画,写真,映像,インスタレーション等の他,コンセプトに伴う「最良の」表現方法を分野を問わず新しい表現形態で模索してみる.	□修了制作 展示場所・kotteまたは各自任意の場所,空間 ＝4単位 □ステイトメント これまでの修了過程を考察し,あなたの「美術への見解」を述べよ. ＝2単位 □展覧会の流れを作ることができるようになる. 企画～告知～会期後の編集まで ＝4単位
単位	16	16	6	2	7	16	6	4	6	20	6	2	2	10

参考 ●『西洋美術史』,『20世紀の美術』(美術出版社) ●『いちばん親切的な西洋美術史』(新星出版社) ●『わかるとはどういうことか』(山鳥重,ちくま新書) ●『形而上学〈上〉』(アリストテレス,岩波文庫) ●『現代美術史』(山本浩貴,中公新書) ●『20世紀美術』(PARCO出版) ●『配色の設計-色の知覚と相互作用』(Joseph Albers, BNN新社) ●『現代美術事典-アンフォルメルからニュー・ベインティングまで-』(中原佑介監修,美術出版社) ●『複製技術時代の芸術』(W.ベンヤミン,晶文社) ●『シミュレーションニズム』(榎木野衣,ちくま学芸文庫) ●『デザインのデザイン』(原研哉,岩波書店) ●『芸術作品の根源』(M.ハイデッガー,平凡社ライブラリー) ●『今日の芸術』(岡本太郎,光文社)